

2018 年度（対象年度：2017） 自己点検・評価シート

基準 1	理念・目的
------	-------

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入してください。

項目	評価項目	自己評価	
No.	点検項目（評価の視点）	現状	改善
101	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	A	A
	①建学の精神の設定とその内容 ・目指すべき方向性 ・育成する人間像		
102	大学の理念・目的及び学部・研究科等の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	A	
	①建学の精神の普及と醸成 ・学生及び教職員への周知・理解 ・教育・研究・社会貢献における具現化 ・人権尊重の理解促進		

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。	
No.101	2012 年度に部局長会において建学の精神を明文化し、ホームページ、学生手帳、出講手帳等において、本学が育成する人間像を明示している。(a)
No.102	「建学の精神」冊子を全学生に配付し、「仏教の思想」の授業のサブテキストとして使用している。(b)
No.102	宗教委員会において、宗教局の学生と宗教部が実施したアンケート結果をもとに、建学の精神の浸透状況について共有している。(c)
No.102	建学の精神に根ざした法要・行事を実施し、宗教委員会において参加人数等を確認している。(d)
No.102	人権学習誌「白色白光」を発行し、全学生に配付している。(e)
長所・特色《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの	
項目 No.102	「建学の精神」冊子の中国語版／英語版を作成し、留学生等に配布し、HP で公開している(f)
項目 No.102	建学の精神に根ざした「人権に関する基本方針」を策定するとともに、2017 年度に「性のあり方の多様性に関する基本指針」を策定し、ホームページ等で明示している。(g)
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
項目 No.102	アンケート結果から、建学の精神は知っているものの、内容を説明できない、あるいは関心が低いことが読み取れることから、さらなる浸透方策の検討が課題である。
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み	*成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
「研究活動の指針」において2012年度以前の表現が残っていたが、全学研究会議にて改善が図られた、(H)あらたに「性のあり方の多様性に関する基本指針」を策定し、研修会の開催や、だれでもトイレの整備をおこなった。(i)	

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
102	宗教委員会において、成人のつどいのあり方を含め、建学の精神の浸透方策について検討する。
102	性のあり方の多様性に関する基本指針にもとづき、人権問題研究委員会から環境改善の提言をおこなう。

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	a	建学の精神 http://www.ryukoku.ac.jp/about/outline/spirit.html
102	B	龍大はじめの一步「龍谷大学見学の精神」 http://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/know/
102	c	建学の精神に関するアンケート結果
102	d	建学の精神に関する法要・行事一覧
102	e	白色白光 http://www.ryukoku.ac.jp/shukyo/committee/print.html
102	f	龍大はじめの一步「龍谷大学建学の精神」中国語版、英語版
102	g	「人権に関する基本方針」「性のあり方の多様性に関する基本指針」
102	h	龍谷大学研究活動に関する指針
102	l	だれでもトイレについて、だれでもトイレ一覧

Ⅱ. 評価結果

総評
「建学の精神」は WEB サイト等（中国語版／英語版を含む）に掲載され、広く社会に公表されている。また学内における周知・公表として、全学生に対し冊子「龍大はじめの一步「龍谷大学建学の精神」」を配布していることは評価できる。 冊子「龍大はじめの一步「龍谷大学建学の精神」」の中国語版及び英語版を作成し、留学生等に配布していることは評価できる。 冊子「龍大はじめの一步「龍谷大学建学の精神」」を授業科目「仏教の思想」のサブテキストとして使用しているとの記載があるが、どのように使用されているのか具体的な説明が望まれる。 宗教部が実施したアンケート結果からは、建学の精神は知っているものの、内容を説明できない、あるいは関心が低いことが読み取れることから、さらなる浸透方策の検討が課題である。 新たに「性のあり方の多様性に関する基本指針」の策定・公表し、「だれでもトイレ」の整備など、人権に配慮した環境改善に努めていることは評価できる。
長所・特色《箇条書き》
「建学の精神」は WEB サイト（中国語版／英語版）で公表している。 冊子「龍大はじめの一步「龍谷大学見学の精神」」(中国語版／英語版)を作成し留学生等に配布している。 「性のあり方の多様性に関する基本指針」の策定・公表し、「だれでもトイレ」の整備など、人権に配慮した環境改善に努めている。
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
冊子「龍大はじめの一步「龍谷大学建学の精神」」を授業科目「仏教の思想」のサブテキストとして使用しているとの記載があるが、どのように使用されているのか具体的な説明が望まれる【留意点】。 アンケート結果を踏まえ、さらなる「建学の精神」の浸透策を検討・実施することが期待される【留意点】。

2018 年度（対象年度：2017） 自己点検・評価シート

基準 1	理念・目的
------	-------

I. 自己点検・評価

1 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「A」「B」「C」「D」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目	自己評価	
	点検項目（評価の視点）	現状	改善
101	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	B	B
	①建学の精神と大学の教育理念・目的の連関性		
	②大学の教育理念・目的と学部・研究科の教育理念・目的の連関性		
102	③学部においては、学部、学科又は課程ごとに、研究科においては、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的の設定とその内容	A	B
	大学の理念・目的及び学部・研究科等の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。		
	①学部においては、学部、学科又は課程ごとに、研究科においては、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的の適切な明示		
	②教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等による大学の教育理念・目的、学部・研究科の教育理念・目的等の周知・公表		

2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。
101① 建学の精神と連関した「龍谷大学の教育理念・目的」[101a]を設定している。 101② 大学の教育理念・目的と学部・研究科の教育理念・目的の連関性を担保するため、「学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」）策定の基本方針」を設定[101b]している。 101③ 学部・研究科ごとに、人材育成その他の教育研究上の目的を示した「教育理念・目的」を設定し、そのもとに3つの方針を定めている。 2015年度に「龍谷大学の教育理念・目的」及び「学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針策定の基本方針」が策定されたことから、学部・研究科の教育理念・目的と3つの方針の連関性や、3つの方針相互の整合性をあらためて見直すため、全学教学会議のもとに「3つの方針一体的見直し作業部会」を設置し（2016年度第2回全学教学会議〈2016.9.27〉承認）[101c]、2017度の作業結果（計5回開催）及び2018年度の取組内容を全学教学政策会議に報告（2017年度第3回全学教学政策会議〈2018.3.22〉）[101d]しており、2018年度前期には概ね作業が完了する予定である。 102①学部においては学部毎に、短期大学部及び研究科については、学科（専攻）毎に、学則において適切に明示されている。[102a] 102②本学の教育理念・目的、学部・研究科の教育理念・目的等については、各学部・研究科の履修要項や学生手帳、出講手帳、大学HPにおいて確認することが可能となっており、教職員、学生、社会に対して適切に公表されている[102b]。周知の方策については、教員に対しては、年度初めの教授会や研究科委員会で、学生に対しては履修登録説明会等でなされている。

長所・特色《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項《箇条書き》 *伸長すべき点、改善すべき点	
101③	学部・研究科の教育理念・目的と3つの方針の連関性、3つの方針相互の整合性の見直し。
項目 No.	

3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み *成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
101③	「3つの方針一体的見直し作業部会」を計5回開催し、2017年度の作業結果及び2018年度の取組内容を全学教学政策会議に報告（2017年度第3回全学教学政策会議〈2018.3.22〉）[101 d]している。2018年度前期には概ね作業が完了する予定である。
102①	学部・研究科の「教育理念・目的」については、毎年度初めの教授会等で変更の有無について確認がなされ、適切性が確認されている。[102c]
102②	学部・研究科の「教育理念・目的」等の変更については、媒体間で齟齬が生じないよう、教学部及び当該学部・研究科が連携し確認を行っている。

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
101③	「3つの方針一体的見直し作業部会」を通じて、全学的な共通の枠組みのもとに継続的に見直し作業を行う。

4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
101	a	龍谷大学の教育理念・目的（URL： http://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy.html ）
101	b	学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」）策定の基本方針 （URL： http://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy.html ）
101	c	3つの方針一体的見直し作業部会の設置について（提案）＜2016年度第2回全学教学会議 資料＞
101	d	3つの方針一体的見直し作業部会における2017年度の作業結果について（報告）＜2017年度第3回全学教学政策会議 資料＞
102	a	学部・大学院・短期大学部学則（抜粋）
102	b	2017年度各学部履修要項
102	c	2017年度各研究科履修要項（電子データなし）
102	d	2017年度学生手帳（電子データなし）
102	e	2017年度出講手帳
102	f	大学の教育理念・目的、学部・研究科の「教育理念・目的」 http://www.ryukoku.ac.jp/about/philosophy.html
102	g	各学部・大学院における「教育理念・目的」「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」の変更について（依頼）

Ⅱ. 評価結果

総評
龍谷大学の教育理念・目的は、「建学の精神」に基づき定められ、その教育理念・目的の下に「学部・研究科の『教育理念・目的』と3つの方針（「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」）策定の基本方針」が定められており、その関連性を担保できていると評価できる。 各学部・研究科の人材育成その他教育研究上の目的は、「教育理念・目的」の中に定められ、そのもとに3つの方針が定められている。 全学教学会議のもとに「3つの方針一体的見直し作業部会」を設置し、学部・研究科の教育理念・目的と3つの方針の関連性や、3つの方針相互の整合性を見直していることは、評価できる。 教育理念・目的は、履修要項や学生手帳、出講手帳、大学 HP において確認することが可能であり、かつ教授会や研究科委員会、又は履修登録説明会等で周知・説明がなされており、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているものと評価できる。 「3つの方針一体的見直し作業部会」の作業が、予定どおり 2018 年度前期には概ね完了することが期待される。
長所・特色《箇条書き》
全学教学会議のもとに「3つの方針一体的見直し作業部会」を設置し、学部・研究科の教育理念・目的と3つの方針の関連性や、3つの方針相互の整合性を見直している。
課題事項《箇条書き》 *各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載
「3つの方針一体的見直し作業部会」の作業が、予定どおり 2018 年度前期には概ね完了することが期待される。 【留意点】